

若桜町監査発第20号  
平成30年8月28日

若桜町長 矢部 康樹 様

若桜町監査委員 藤原 重明

同 山本 安雄

平成29年度若桜町一般会計及び特別会計歳入歳出決算並びに基金運用  
状況の審査意見について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された、平成29年度若桜町一般会計及び特別会計歳入歳出決算関係書類並びに地方自治法第241条第5項の規定により審査に付された、基金運用の状況を示す書類を審査したので、次のとおり意見を提出します。

なお、留意、検討を要する事項に係る検討結果及び今後の改善実施計画等について、10月31日（水）までに報告願います。

平成29年度

# 若桜町決算審査意見書

一般会計及び特別会計決算  
並びに基金運用状況

若桜町監査委員

## 目 次

	ページ
1 審査の対象 .....	1
2 審査の方法 .....	1
3 審査の期間 .....	1
4 審査結果の報告 .....	2
5 指摘事項 .....	2
6 留意、検討を要する事項 .....	2
7 まとめ .....	5
<b>別紙</b> 平成29年度各会計決算概要	
1 一般会計 .....	6
2 国民健康保険事業特別会計 .....	9
3 介護保険事業特別会計 .....	9
4 後期高齢者医療特別会計 .....	10
5 簡易水道事業特別会計 .....	11
6 公共下水道事業特別会計 .....	11
7 農業集落排水事業特別会計 .....	12
8 赤松団地造成事業特別会計 .....	13
9 財産区造林事業特別会計 .....	14
10 索道事業特別会計 .....	14
11 住宅新築資金等貸付事業特別会計 .....	15

# 平成29年度若桜町歳入歳出決算・基金運用状況 審査意見

## 1 審査の対象

### (1) 歳入歳出決算

#### ア 一般会計

平成29年度若桜町一般会計歳入歳出決算

#### イ 特別会計

- ① 平成29年度若桜町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算
- ② 平成29年度若桜町介護保険事業特別会計歳入歳出決算
- ③ 平成29年度若桜町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
- ④ 平成29年度若桜町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算
- ⑤ 平成29年度若桜町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算
- ⑥ 平成29年度若桜町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算
- ⑦ 平成29年度若桜町赤松団地造成事業特別会計歳入歳出決算
- ⑧ 平成29年度若桜町財産区造林事業特別会計歳入歳出決算
- ⑨ 平成29年度若桜町索道事業特別会計歳入歳出決算
- ⑩ 平成29年度若桜町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算

### (2) 上記決算に関する証書類、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書

### (3) 基金運用状況

- ① 若桜町土地開発基金

## 2 審査の方法

決算審査にあたっては、町長から提出された歳入歳出決算書、事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書について、主に次の項目を視点として、関係証書類等により照合精査するとともに、関係当局の説明を聴取し、併せて例月出納検査・定期監査等の結果を勘案して慎重に審査した。

- (1) 計数は正確か
- (2) 予算の執行が地方自治法第2条第14項及び同条第15項の規定に則った効率的な処理と合理的な運営がなされているか
- (3) 会計経理事務は、関係法規に準拠し、適正に処理されているか
- (4) 財産の取得、管理及び処分は、適正に行われているか
- (5) 地方自治法第241条第5項の規定に基づく基金の運用状況は適正か  
なお、各会計の決算概要は別紙のとおりである。

## 3 審査の期間

平成30年8月21日、22日、23日、24日、27日、28日の6日間

#### 4 審査結果の報告

各会計歳入歳出決算書、事項別明細書及び実質収支に関する調書の計数と歳入歳出整理簿等関係諸帳簿・証書類を照合した結果、すべての重要な点において適正に表示されているものと認めた。

会計における残高は、預け入れ金融機関の預貯金残高等と符合しており、適正であると認めた。

また、基金に関する調書の計数並びに土地開発基金の運用については、平成28年度の取崩額が平成29年度に同額で組み戻しされており、適正であると認めた。

#### 5 指摘事項

例月出納検査、定期監査等も踏まえ指摘事項はなし。

#### 6 留意、検討を要する事項

事務事業の執行にあたり留意、検討を要する事項は次のとおりである。

##### (1) 財政運営の指標

財政関係指標等の数値は次のとおりである。

経常収支比率は84.9パーセントとなり、前年度の84.0パーセントから0.9ポイント増え、やや硬直化した。これは、物件費及び維持補修費並びに公債費の増加が主な要因となっている。指針となる70パーセント程度に向けた改善努力を望む。

#### 財政関係指標等

(地方債、基金残高の単位：千円)

区 分		数 値		
		平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末
経常収支比率		81.3%	84.0%	84.9%
実質公債費比率(単年度値)		5.7%	6.8%	6.6%
実質公債費比率(3年間の平均値)		6.4%	6.1%	6.3%
地 方 債 残 高		4,930,925	4,933,279	5,196,423
内 訳	一 般 会 計	3,169,108	3,187,847	3,346,290
	簡 易 水 道 会 計	307,640	354,601	467,897
	公 共 下 水 道 事 業 会 計	794,212	756,766	728,960
	農 業 集 落 排 水 事 業 会 計	614,433	566,400	520,984
	赤 松 団 地 造 成 事 業 会 計	7,032	6,665	6,292
	索 道 事 業 会 計	38,500	61,000	126,000
基 金 残 高		2,267,287	2,253,855	2,247,508

## (2) 資産台帳

- ① 公会計導入による財務4表等の公表もあり、各財産の管理や資本関係に基づく外部関係団体との連結決算も視野に、今まで以上に適時適切に管理することが求められている。上記の事務に適合した財務会計規則の見直しを同時に行われたい。
- ② 若桜鉄道に関する財産について、車両等（改装された「昭和」を含む）が町有財産として固定資産台帳、物品台帳に計上されていないものがある。速やかに網羅されたい。

## (3) 各種税と使用料等

- ① 町税ほか各種保険料の現年度分の収納率はすべて99.7パーセント以上で、滞納繰越分も含めても97.5パーセントとなっており、対前年で1.0パーセント上昇し、県内トップクラスを維持しており、評価できる。今後とも収納率の上昇に努力されたい。
- ② 債権管理について
  - (ア) 収入未済額については、回収努力、時効中断、不納欠損も含めて法に基づいた適正・効率的な滞納整理事務を行われたい。
  - (イ) 不納欠損については、町税及び各種保険料において、777千円実施されている。また、公共下水道事業においては、負担金、使用料あわせて790千円実施された。時効到来、執行停止等の法令・規則に基づいた手続きを経ているとは認められるが、納税者の状況、時効の有無等、厳重に対応する等債権管理を適切に行い、収入未済額の減少に努められたい。
  - (ウ) 町営住宅使用料についても、1,913千円の不納欠損が実施された。消滅時効期間は5年であるが、滞納率、額ともに高く、慎重かつ厳正に対処され、適切な債権管理を行われたい。特に、不納欠損の取り組みは安易に行わず、滞納者との交渉過程を記録、保存し、検証可能な資料として整備されたい。
  - (エ) 雑入に計上された20,125千円については、支払契約が成立し、入金が始まったところであるが、当該債務者の定期的な状況把握をするなど債権者として回収に努められたい。

## 収入未済額明細

(単位：千円)

区 分	平成26年度末	平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末	増 減 額
	①	②	③	④	④ - ③
町 民 税	484	254	146	79	△67
固 定 資 産 税	9,366	7,649	6,973	6,920	△53
軽 自 動 車 税	45	53	70	53	△17
町営住宅等使用料	16,731	16,100	15,982	14,014	△1,968
土地建物貸付収入	831	831	831	0	△831
雑 入	12	12	20,479	20,125	△354
一 般 会 計 合 計	27,469	24,899	44,481	41,191	△3,290

国民健康保険税	13,403	8,307	6,290	5,093	△1,197
介護保険料	162	141	238	62	△176
後期高齢者医療保険料	△32	0	△1	△28	△27
簡易水道使用料	4,823	4,537	4,586	4,477	△109
下水道負担金	759	759	13	0	△13
下水道使用料	4,960	5,237	1,865	1,078	△787
農業集落排水分担金	240	240	0	0	0
農業集落排水使用料	123	126	166	137	△29
索道事業納付金	0	13,030	0	0	0
住宅新築資金等貸付金	96,678	90,953	89,138	88,402	△736
特別会計合計	121,116	123,330	102,295	99,221	△3,074
総計	148,585	148,229	146,776	140,412	△6,364

#### (4) 氷ノ山における賃貸借契約の締結

ゲレンデ・駐車場の賃貸借契約が締結されているが、契約当初からは大幅な環境の変化もあり、「入り込み客数の推移」「駐車場使用状況・駐車料金収入」等の現状をもとに、不動産鑑定士等専門家の意見を参考にして、妥当な賃借料及び賃借地となるよう改善されたい。

#### (5) 交際費の支出

交際費の支出については、支出基準等を定め、経費の削減に努めるとともに適正妥当な事務管理を行われたい。

#### (6) 地籍調査の推進

当町の地籍調査は、平成28年度現在で調査対象面積144.82km<sup>2</sup>のうち、4.72km<sup>2</sup>が調査済みとなっている。進捗率は3.3%にとどまり、県内市町村の最下位である。このペースで進むと残り96.7%を実施するには100年単位の年月が必要と思われる。早急に事業の再構築を行い、年度目標を定めて、着実に事業を推進されたい。

#### (7) 管理委託業務

塵芥処理事業及び公共下水終末処理管理委託については、相当期間にわたり同一業者と随意契約が継続されている。2～3年に1回は契約を見直しすることとし、入札制度を導入するなど競争原理を働かせ、管理技術の向上、町民への休日、時間帯等サービスの向上及びコスト削減を目指して、適正・妥当な業者選定を行われたい。

#### (8) 特産品開発支援事業補助金

特産品を新たに生み出すことは簡単ではないが、制度を生かすことが重要である。補助金の交付方法や交付基準などを見直すとともに、要綱に基づく計画、実行を確認点検し、補助金を有効・適正に運用されたい。

(9) 国の重要伝統的建造物群保存地区の指定事業

取り組みから数年が経過しているが、進展度合いが見られない。町民への未来像の提示や対象地区住民とのコンセンサス、行政のやる気度の表明等まだまだ課題が山積している。目標期日を定め、計画を町民に示し、計画実行の見える化を行い、着実に進められたい。

(10) 町誌編纂事業

発行日を定め、発行に向けた進捗管理を行い、新しい町誌が早く見られることを期待する。

7 まとめ

平成29年度一般会計の決算額は、歳入36億9,277万円、歳出34億4,558万円、差引残額2億4,719万円で、繰越財源を控除した実質収支は2億1,925万円の黒字決算となっている。

また、特別会計(10会計)の実質収支額では、国民健康保健事業が3,531万円の黒字決算、介護保険事業が2,518万円の黒字決算、後期高齢者医療が約7千円の黒字決算、索道事業が188万円の黒字決算、その他の6事業は0円となっている。これは、財産区造林事業、索道事業、住宅新築資金等貸付事業を除く7会計が、一般会計から繰り入れを受けた結果である。

財政運営の実質公債費比率他の判断指標数値は、ここ2~3年大きな変動はなく推移しているが、人口減少が更に進むことが予測され、税収も減少傾向になる中で、水道施設の更新・統合や公営住宅の建替え、道路維持管理等インフラ整備が実施されるほか、財政的には決して余裕があるとは言えない。

更に公会計導入によって、財務4表(貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書)による、コスト計算等財務の捉え方が変わってくる。又、外郭団体との連結決算の導入も視野に入れることや、他の市町村との比較が容易になることから、施策の方向を検討する必要がある。

限られた財源の中で、合理的かつ効果的な行政運営が行われるよう期待している。

別紙

平成29年度 各会計決算概要

1 一般会計

歳入歳出決算額は、

歳入総額 3,692,776,035円で予算現額に対する割合は95.6%

歳出総額 3,445,581,436円で予算現額に対する割合は89.2%

歳入歳出差引 247,194,599円

うち 27,947,050円(11.3%)が繰越明許費繰越額

実質収支額 219,247,549円

歳入

予算現額 ①	調定額 ②	収入済額 ③	不納欠損額 ④	収入未済額 ②-③-④	予算現額と収入 済額との比較 ③-①	収納率 ③/②
円 3,861,808,631	円 3,735,989,807	円 3,692,776,035	円 2,022,538	円 41,191,234	円 △169,032,596	% 98.8

歳出

予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	予算現額と支出済額と の比較 ①-②	執行率 ②/①
円 3,861,808,631	円 3,445,581,436	円 145,493,846	円 270,733,349	円 416,227,195	% 89.2

事業繰越(繰越明許費)の内訳

(単位:円)

款	項	事業名	予算額	翌年度繰越額
2総務費	7交通対策費	若桜鉄道対策事業	32,336,000	32,336,000
		バス運行事業	5,047,000	5,047,000
4衛生費	3簡易水道費	簡易水道事業特別会計繰出金	22,837,000	100,000
5農林水産 業費	2林業費	美しい森づくり基盤整備事業交付金	31,054,000	21,838,846
6商工費	1商工費	わかさスキー場管理棟等改築事業	8,920,000	8,424,000
7土木費	1土木管理費	わかさ氷ノ山トンネルレリーフ整備事業	5,697,000	4,749,000
		急傾斜地崩壊対策事業	420,000	344,000

	2 道路橋りょう費	町道浦町線消雪施設改良事業	114,832,000	35,873,000
	3 住宅費	町営住宅若葉団地建替事業	88,232,000	36,142,000
	4 都市計画費	公共下水道事業特別会計繰出金	88,656,000	100,000
10 災害復旧費	農林業施設災害復旧費	農地災害復旧事業	600,000	540,000
合 計			398,631,000	145,493,846

各会計の最近3ヵ年間の予算の執行状況は、下表のとおりである。

<一般会計 科目別歳入の状況>

(単位:額は千円、構成比は%)

区 分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		
	決算額	構成比	決算額	構成比	予算額	決算額	構成比
町 税	238,295	6.5	242,339	6.6	240,758	243,738	6.6
地 方 譲 与 税	23,448	0.6	18,550	0.5	17,919	18,460	0.5
利 子 割 交 付 金	651	0.0	419	0.0	661	665	0.0
配 当 割 交 付 金	1,349	0.0	832	0.0	1,272	1,217	0.0
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	1,255	0.0	487	0.0	1,306	1,322	0.0
地 方 消 費 税 交 付 金	65,675	1.8	56,015	1.5	53,407	53,372	1.5
自 動 車 取 得 税 交 付 金	4,020	0.1	3,912	0.1	5,232	5,232	0.1
地 方 特 例 交 付 金	181	0.0	156	0.0	150	352	0.0
地 方 交 付 税	1,970,832	53.4	1,947,380	52.6	1,896,957	1,896,957	51.4
分 担 金 及 び 負 担 金	10,934	0.3	13,895	0.4	25,145	24,711	0.7
使 用 料 及 び 手 数 料	37,809	1.0	37,903	1.0	38,173	35,823	1.0
国 庫 支 出 金	327,803	8.9	333,991	9.0	367,950	321,137	8.7
県 支 出 金	368,297	10.0	277,970	7.5	267,789	240,880	6.5
財 産 収 入	21,582	0.6	21,722	0.6	18,950	19,784	0.5
寄 付 金	21,827	0.6	21,758	0.6	20,370	18,308	0.5
繰 入 金	23,715	0.7	53,530	1.5	69,695	45,734	1.3
繰 越 金	240,691	6.5	286,986	7.8	241,297	241,298	6.5
諸 収 入	51,834	1.4	74,387	2.0	71,667	61,075	1.7
町 債	281,273	7.6	308,809	8.3	523,111	462,711	12.5
合 計	3,691,471	100.0	3,701,041	100.0	3,861,809	3,692,776	100.0

<一般会計 科目別歳出の状況>

(単位:額は千円、構成比は%)

区 分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		
	決算額	構成比	決算額	構成比	予算額	決算額	構成比
議 会 費	64,394	1.9	60,136	1.7	62,812	60,741	1.8
総 務 費	726,768	21.3	705,598	20.4	772,239	661,354	19.2
民 生 費	786,054	23.1	746,029	21.6	810,361	743,043	21.6
衛 生 費	157,438	4.6	164,720	4.7	167,795	158,680	4.6
農 林 水 産 業 費	444,776	13.1	433,621	12.5	468,818	394,822	11.4
商 工 費	197,608	5.8	185,517	5.4	182,961	160,701	4.7
土 木 費	362,828	10.6	342,014	9.9	513,623	412,541	12.0
消 防 費	94,498	2.8	158,390	4.6	248,958	246,199	7.1
教 育 費	254,169	7.5	344,805	10.0	299,593	278,087	8.1
災 害 復 旧 費	80	0.0	328	0.0	2,840	895	0.0
公 債 費	315,871	9.3	318,586	9.2	330,142	328,518	9.5
予 備 費	0	0.0	0	0.0	1,667	0	0.0
合 計	3,404,485	100.0	3,459,744	100.0	3,861,809	3,445,581	100.0

## 2 国民健康保険事業特別会計

歳入歳出決算額は、

歳入総額 506,486,863円で予算現額に対する割合は103.8%

(うち一般会計繰入金 39,447,272円)

歳出総額 471,172,630円で予算現額に対する割合は96.6%

歳入歳出差引 35,314,233円

うち 0円(一%)が繰越明許費繰越額

実質収支額 35,314,233円

### 歳入

予算現額 ①	調定額 ②	収入済額 ③	不納欠損額 ④	収入未済額 ②-③-④	予算現額と収入済 額との比較 ③-①	収納率 ③/②
円	円	円	円	円	円	%
487,997,000	512,130,107	506,486,863	550,400	5,092,844	18,489,863	98.9

### 歳出

予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	予算現額と支出済額と の比較 ①-②	執行率 ②/①
円	円	円	円	円	%
487,997,000	471,172,630	0	16,824,370	16,824,370	96.6

## 3 介護保険事業特別会計

歳入歳出決算額は、

歳入総額 591,142,724円で予算現額に対する割合は94.2%

(うち一般会計繰入金 78,847,975円、基金繰入金 0円)

歳出総額 565,958,462円で予算現額に対する割合は90.2%

歳入歳出差引 25,184,262円

うち 0円(一%)が繰越明許費繰越額

実質収支額 25,184,262円

### 歳入

予算現額 ①	調定額 ②	収入済額 ③	不納欠損額 ④	収入未済額 ②-③-④	予算現額と収入済 額との比較 ③-①	収納率 ③/②
円	円	円	円	円	円	%
627,790,000	591,304,403	591,142,724	100,100	61,579	△36,647,276	99.9

歳 出

予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	予算現額と支出済額と の比較 ①-②	執行率 ②/①
円 627,790,000	円 565,958,462	円 0	円 61,831,538	円 61,831,538	% 90.2

4 後期高齢者医療特別会計

歳入歳出決算額は、

歳入総額 54,421,658円で予算現額に対する割合は98.2%

(うち一般会計繰入金 21,016,758円)

歳出総額 54,414,958円で予算現額に対する割合は98.2%

歳入歳出差引 6,700円

うち 0円(-%)が繰越明許費繰越額

実質収支額 6,700円

歳 入

予算現額 ①	調定額 ②	収入済額 ③	不納欠損額 ④	収入未済額 ②-③-④	予算現額と収入済 額との比較 ③-①	収納率 ③/②
円 55,392,000	円 54,393,758	円 54,421,658	円 0	円 △27,900	円 △970,342	% 100.0

歳 出

予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	予算現額と支出済額と の比較 ①-②	執行率 ②/①
円 55,392,000	円 54,414,958	円 0	円 977,042	円 977,042	% 98.2

## 5 簡易水道事業特別会計

歳入歳出決算額は、

歳入総額 258,024,226円で予算現額に対する割合は70.9%  
 (うち一般会計繰入金 26,241,532円、基金繰入金 1,076,220円)  
 歳出総額 258,024,226円で予算現額に対する割合は70.9%  
 歳入歳出差引 0円  
 うち 0円(一%)が繰越明許費繰越額  
 実質収支額 0円

### 歳入

予算現額 ①	調定額 ②	収入済額 ③	不納欠損額 ④	収入未済額 ②-③-④	予算現額と収入済 額との比較 ③-①	収納率 ③/②
円	円	円	円	円	円	%
363,961,000	262,631,114	258,024,226	130,338	4,476,550	△105,936,774	98.2

### 歳出

予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	予算現額と支出済額と の比較 ①-②	執行率 ②/①
円	円	円	円	円	%
363,961,000	258,024,226	2,200,000	103,736,774	105,936,774	70.9

### 事業繰越(繰越明許費)の内訳

款	項	事業名	予算額	翌年度繰越額
2 簡易水道 施設費	3 拡張改良 事業費	若桜地区簡易水道配水管布設替事 業	円 264,184,000	円 2,200,000

## 6 公共下水道事業特別会計

歳入歳出決算額は、

歳入総額 202,169,780円で予算現額に対する割合は78.3%  
 (うち一般会計繰入金 83,239,353円)  
 歳出総額 202,169,780円で予算現額に対する割合は78.3%  
 歳入歳出差引 0円  
 うち 0円(一%)が繰越明許費繰越額  
 実質収支額 0円

歳入

予算現額 ①	調定額 ②	収入済額 ③	不納欠損額 ④	収入未済額 ②-③-④	予算現額と収入済額との比較 ③-①	収納率 ③/②
円 258,253,000	円 204,039,116	円 202,169,780	円 790,930	円 1,078,406	円 △56,083,220	% 99.1

歳出

予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	予算現額と支出済額との比較 ①-②	執行率 ②/①
円 258,253,000	円 202,169,780	円 50,095,000	円 5,988,220	円 56,083,220	% 78.3

事業繰越（繰越明許費）の内訳

款	項	事業名	予算額	翌年度繰越額
1 公共下水道費	1 公共下水道費	若桜浄化センター長寿命化事業	円 86,248,000	円 50,095,000

7 農業集落排水事業特別会計

歳入歳出決算額は、

歳入総額 69,454,636円で予算現額に対する割合は91.4%

(うち一般会計繰入金 60,090,271円)

歳出総額 69,454,636円で予算現額に対する割合は91.4%

歳入歳出差引 0円

うち 0円(-%)が繰越明許費繰越額

実質収支額 0円

歳入

予算現額 ①	調定額 ②	収入済額 ③	不納欠損額 ④	収入未済額 ②-③-④	予算現額と収入済額との比較 ③-①	収納率 ③/②
円 75,964,000	円 69,591,916	円 69,454,636	円 0	円 137,280	円 △6,509,364	% 99.8

歳 出

予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	予算現額と支出済額と の比較 ① - ②	執行率 ②/①
円 75,964,000	円 69,454,636	円 0	円 6,509,364	円 6,509,364	% 91.4

8 赤松団地造成事業特別会計

歳入歳出決算額は、

歳入総額 496,198円で予算現額に対する割合は99.8%

(うち一般会計繰入金 112,798円)

歳出総額 496,198円で予算現額に対する割合は99.8%

歳入歳出差引 0円

うち 0円(-%)が繰越明許費繰越額

実質収支額 0円

歳 入

予算現額 ①	調定額 ②	収入済額 ③	不納欠損額 ④	収入未済額 ②-③-④	予算現額と収入済 額との比較 ③-①	収納率 ③/②
円 497,000	円 496,198	円 496,198	円 0	円 0	円 △802	% 100.0

歳 出

予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	予算現額と支出済額と の比較 ① - ②	執行率 ②/①
円 497,000	円 496,198	円 0	円 802	円 802	% 99.8

## 9 財産区造林事業特別会計

歳入歳出決算額は、

歳入総額	6,488,820円	で予算現額に対する割合は99.9%
歳出総額	6,488,820円	で予算現額に対する割合は99.9%
歳入歳出差引	0円	
うち	0円	(-)が繰越明許費繰越額
実質収支額	0円	

### 歳入

予算現額 ①	調定額 ②	収入済額 ③	不納欠損額 ④	収入未済額 ②-③-④	予算現額と収入済額との比較 ③-①	収納率 ③/②
円 6,489,320	円 6,488,820	円 6,488,820	円 0	円 0	円 △500	% 100.0

### 歳出

予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	予算現額と支出済額との比較 ①-②	執行率 ②/①
円 6,489,320	円 6,488,820	円 0	円 500	円 500	% 99.9

### 事業繰越（繰越明許費）の内訳

款	項	事業名	予算額	翌年度繰越額
-	-	-	円	円

## 10 索道事業特別会計

歳入歳出決算額は、

歳入総額	81,229,794円	で予算現額に対する割合は100.0%
(うち一般会計繰入金 0円、基金繰入金 0円)		
歳出総額	79,349,195円	で予算現額に対する割合は97.7%
歳入歳出差引	1,880,599円	
うち	0円	(-)が繰越明許費繰越額
実質収支額	1,880,599円	

歳入

予算現額 ①	調定額 ②	収入済額 ③	不納欠損額 ④	収入未済額 ②-③-④	予算現額と収入済額との比較 ③-①	収納率 ③/②
円 81,228,000	円 81,229,794	円 81,229,794	円 0	円 0	円 1,794	% 100.0

歳出

予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	予算現額と支出済額との比較 ①-②	執行率 ②/①
円 81,228,000	円 79,349,195	円 0	円 1,878,805	円 1,878,805	% 97.7

11 住宅新築資金等貸付事業特別会計

歳入歳出決算額は、

歳入総額 835,780円で予算現額に対する割合は46.4%  
(うち基金繰入金 0円)

歳出総額 835,780円で予算現額に対する割合は46.4%

歳入歳出差引 0円

うち 0円(1%)が繰越明許費繰越額

実質収支額 0円

歳入

予算現額 ①	調定額 ②	収入済額 ③	不納欠損額 ④	収入未済額 ②-③-④	予算現額と収入済額との比較 ④-①	収納率 ③/②
円 1,800,000	円 89,237,614	円 835,780	円 0	円 88,401,834	円 △964,220	% 0.9

歳出

予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	予算現額と支出済額との比較 ①-②	執行率 ②/①
円 1,800,000	円 835,780	円 0	円 964,220	円 964,220	% 46.4